

# 事業計画及び予算

平成30年2月26日開催の第196回組合会で、平成30年度事業計画及び予算が議決されました。

今年度は、短期経理において、高齢者医療制度に対する納付金等が減額となったものの、前年度に引き続き全国連合会の財政支援を受ける予算となりました。

また、掛金・保険料及び負担金の減収、マイナンバー関連事務費の増加及び貸付・物資供給事業に係る利率引下げなどの影響から、短期経理（介護保険を含む）、業務経理、保健経理、貯金経理、貸付経理、物資経理の6経理で当期損失金が見込まれる非常に厳しい予算となっております。



## ●組合員数

(単位:人)

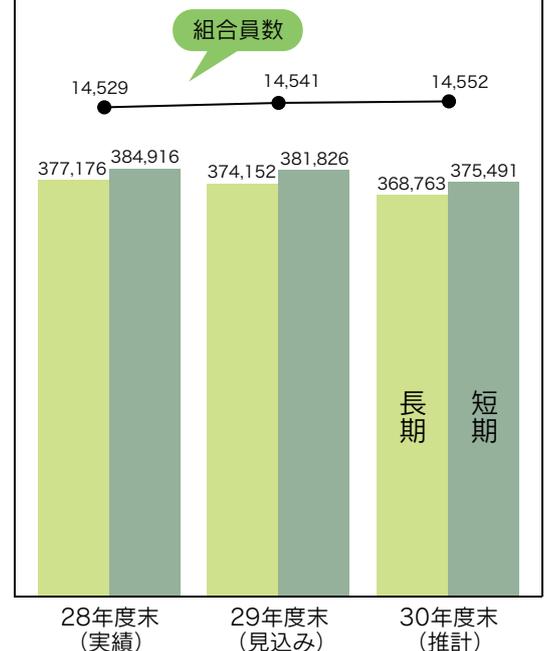
組合員種別		平成30年度末推計
一般組合員	一般職	12,746
	特別職	49
市町村長	組合員	19
特定消防	組合員	1,721
長期組合員	(特別職)	1
市町村長	長期組合員	1
船員	一般組合員	15
継続	長期組合員	0
小計		14,552
任意継続	組合員	228
合計		14,780

## ●所属所数

市	町	一部事務組合等	計
11	9	21	41

組合員数及び平均標準報酬月額  
の推移  
(任意継続組合員を除く。)

単位(人、円)



## ●各経理の収支推計

(単位:千円)

経理名	区分	収入	支出	当期利益金 (△当期損失金)
短期経理		9,685,572	10,040,768	△ 355,196
		915,231	928,196	△ 12,965
厚生年金保険	経理	19,831,111	19,831,111	0
退職等年金	経理	1,267,302	1,267,302	0
経過的長期	経理	146,733	146,733	0
退職等年金預託	管理経理	5,212	5,212	0
経過的長期預託	管理経理	21,545	21,545	0
業務	経理	295,838	301,802	△ 5,964
保健	経理	395,414	399,070	△ 3,656
		7,080	7,080	0
宿泊	経理	279,374	267,674	11,700
貯金	経理	629,508	754,658	△ 125,150
貸付	経理	38,782	47,740	△ 8,958
物資	経理	6,593	10,857	△ 4,264
合計		33,525,295	34,029,748	△ 504,453

※短期経理の欄の上段は医療保険、下段は介護保険の収支を示す。

※保健経理の欄の上段は保健事業、下段はメンタルヘルス対策事業の収支を示す。

●掛金率・負担金率及び公的負担金率等一覧表(平成30年度)

(単位：%)

区分 組合員種別	掛金率						負担金率					
	短期		厚生年金		退職等 年金	保健	短期		厚生年金		退職等 年金	保健
	短期分	介護分	4月～	9月			短期分	介護分	4月～	9月		
一般組合員(一般職) 一般組合員(特別職) 市町村長組合員 特定消防組合員	48.96	7.17	89.93	91.50	7.5	2.0	49.85	7.17	89.93	91.50	7.5	2.0
船員一般組合員	47.30	7.17	89.93	91.50	7.5	2.0	52.40	7.17	89.93	91.50	7.5	2.0
長期組合員(特別職) 市町村長長期組合員	1.72	—	—	—	7.5	2.0	1.72	—	—	—	7.5	2.0
継続長期組合員	—	—	89.93	91.50	7.5	—	—	—	89.93	91.50	7.5	—

区分 組合員種別	特別財政調整 負担金率	育児・介護 公的負担金率	基礎年金公的負担金率	経過的長期 負担金率
一般組合員(一般職) 一般組合員(特別職) 市町村長組合員 特定消防組合員 船員一般組合員	0.2	0.05	39.0	0.1035
長期組合員(特別職) 市町村長長期組合員	—	0.05	39.0	0.1035
継続長期組合員	—	—	39.0	0.1035

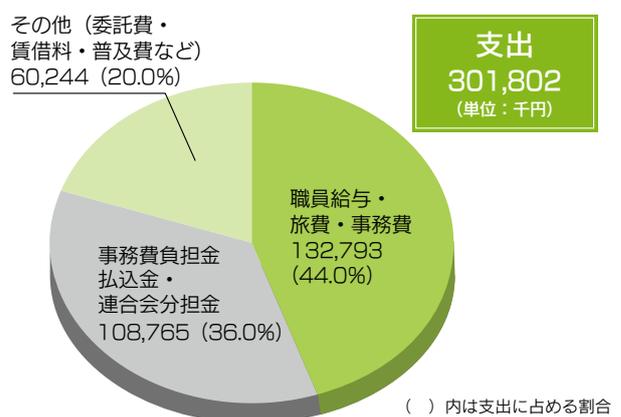
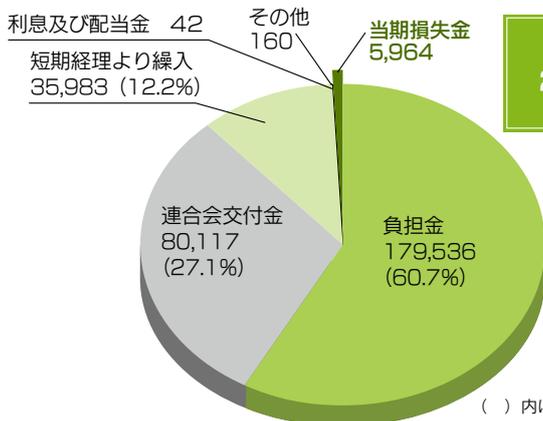
※ □ は4月1日から変更になった部分

業務経理

この経理では、短期給付及び長期給付事業を行うための事務に要する費用等を賄っており、地方公共団体の事務費負担金(組合員1人当たり年額1万2324円)、短期経理からの繰入金(組合員1人当たり2470円)及び全国市町村職員共済組合連合会(以下「全国連合会」という)からの交付金(組合員1人当たり4899円)により運営することとなります。

今年度は、情報連携のための中間サーバー設置に係る運用保守費用等のマイナンバー関連費用や、年金受給者の増加に伴う郵送料等事務費用の増額を見込んでいます。

大変厳しい収支状況ではありませんが、引き続き事務処理の効率化及び適正化に努め、一層の経費節減を図ってまいります。



( ) 内は収入に占める割合

( ) 内は支出に占める割合

# 短期経理

この経理では、組合員及びその被扶養者の医療に係る給付、出産・休業・災害などに係る給付及び介護保険制度の運営に必要な資金の収納及び納付を行っています。

## 【短期給付関係】

医療費や出産費などの保健給付は37億9580万円となり、前年度より2450万円の減少となる見込みで、前期高齢者納付金についても、25億7390万円で、前年度見込額より4億3200万円の大幅減少となる見込みです。

この高齢者医療制度に対する納付金等の減少等の影響により、財源率は、前年度より4.22%引き下げ99.7%となり、このうち高齢者医療制度の支援に要する財源率（特定保険料率）は、50.84%となります。しかしながら、高齢者医療制度に対する納付金等の総額は、44億590万円で、短期給付に係る支出の4割以上を占めており、前年度から引き続き、全国連合会調整交付金の財政支援を受ける予算となりました。  
※短期財源率については、12Pをご覧ください。

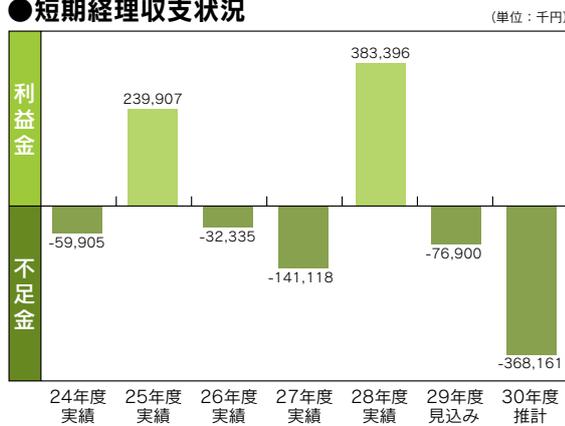
## 【介護保険関係】

介護保険については、40歳以上65歳未満の組合員について、共済組合が保険料を収納し、社会保険診療報酬支払基金に納付しています。

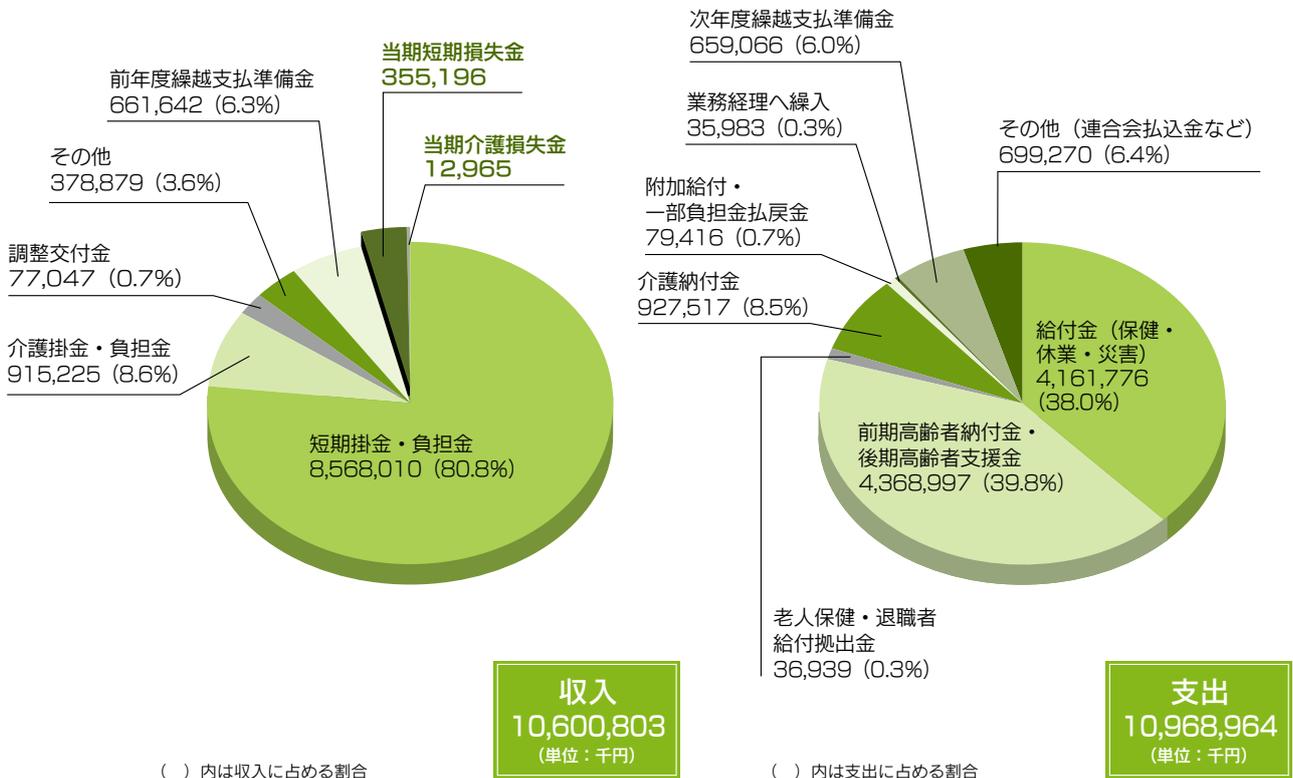
今年度は、介護給付費の増加により介護納付金が前年度よりも1870万円増の9億2750万円となる見込みです。

このため、財源率は、前年度より0.02%引き上げて14.34%となります。

## ●短期経理収支状況



(注) 介護保険の収支を含んだ短期経理の収支状況となっています。

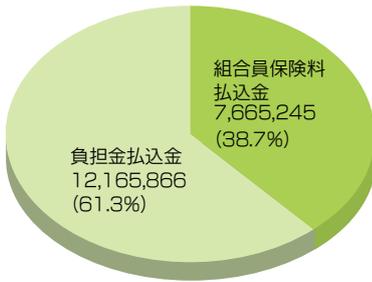


### 厚生年金保険経理

この経理では、平成27年10月からの被用者年金一元化以降、厚生年金給付等の原資となる組合員保険料・負担金（保険料）を収納し、全国連合会へ全額納付しています。

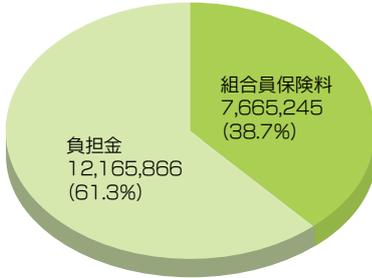
平成29年9月からの財源率は179・86%、組合員の保険料は89・93%、平成30年9月からの財源率は183・00%となり、上限に達し、組合員の保険料は91・50%になります。

**支出**  
19,831,111  
(単位：千円)



( ) 内は支出に占める割合

**収入**  
19,831,111  
(単位：千円)



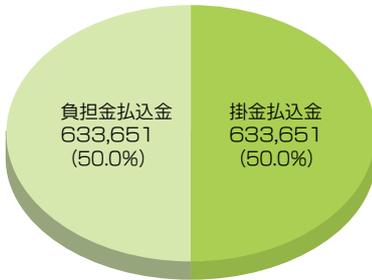
( ) 内は収入に占める割合

### 退職等年金経理

この経理では、平成27年10月からの被用者年金一元化以降、職域年金部分廃止後の新たな年金として創設された退職等年金給付及び平成27年10月以後の公務障害給付・公務遺族給付の原資となる掛金・負担金を収納し、全国連合会へ全額納付しています。

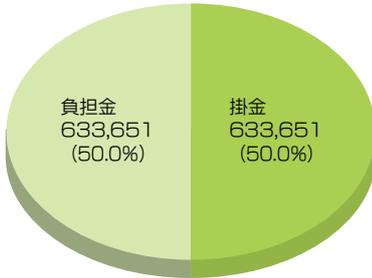
前年度に引き続き、財源率は15%、組合員の掛金率は7・5%です。

**支出**  
1,267,302  
(単位：千円)



( ) 内は支出に占める割合

**収入**  
1,267,302  
(単位：千円)



( ) 内は収入に占める割合

### 経過的長期経理

この経理では、平成27年10月からの被用者年金一元化以降、それ以前の共済年金の旧職域相当部分の給付、既裁定公務障害給付及び公務遺族給付の原資となる負担金を収納し、全国連合会へ全額納付しています。

今年度の財源率は0・1035%で、組合員の負担はありません。

**支出**  
146,733  
(単位：千円)



( ) 内は支出に占める割合

**収入**  
146,733  
(単位：千円)



( ) 内は収入に占める割合

# 保健経理

この経理では、組合員及び被扶養者の健康の保持・増進のため、人間ドック等の利用助成、データヘルス事業、特定健康診査・特定保健指導等を行っています。

掛金・負担金の増収が見込めない中、人間ドック等利用助成の助成金額を平成30年度から2万4000円に引き下げ、平成30年3月末をもって、はり・きゅう施術料補助金を廃止しました。

人間ドック等利用助成などの保健関係及びえひめ共済会館利用助成などの保養関係等、保健事業に要する費用は、前年度より1440万円減の2億9010万円を見込んでおります。

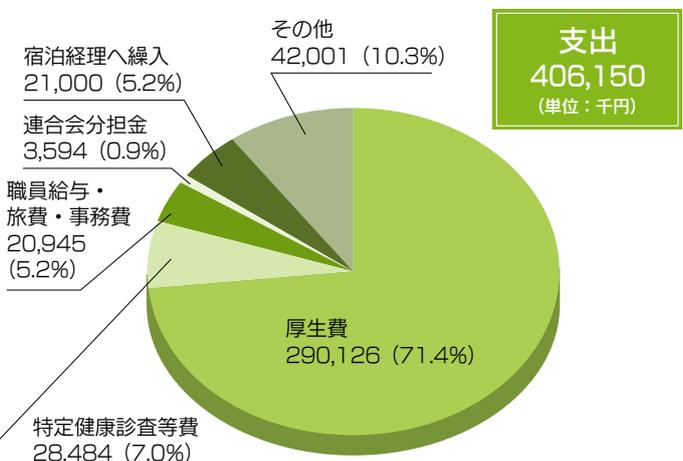
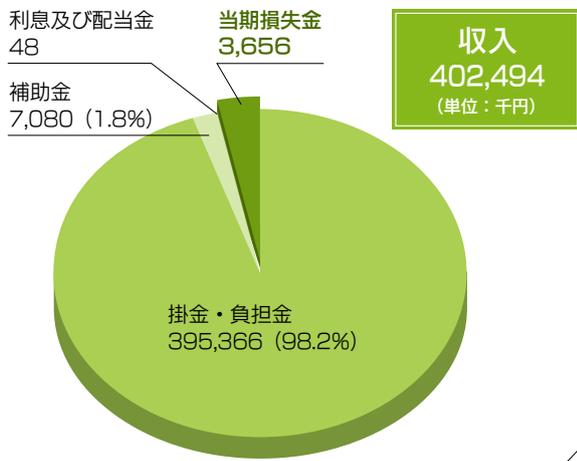
40歳以上の組合員及び被扶養者を対象とした特定健康診査・特定保健指導については、保健師が所属所にお伺いし、組合員の生活習慣病予防に対する意識の向上及び健康状態の改善に努めます。

また、組合員の特定健康診査の受診率向上のため、所属所に対するがん検診等補助の対象に血清クレアチニン検査を追加し、被扶養者に対するインセンティブについても引き続き実施します。

40歳未満の組合員に対しては、データヘルス事業として、所属所との協働(コラボヘルス)により事業者健診情報、人間ドック等健診情報及びレセプトデータを分析し、受診勧奨や保健指導を行います。

県・市町連携によるメンタルヘルス対策事業については、参加構成団体からの補助金により実施いたします。

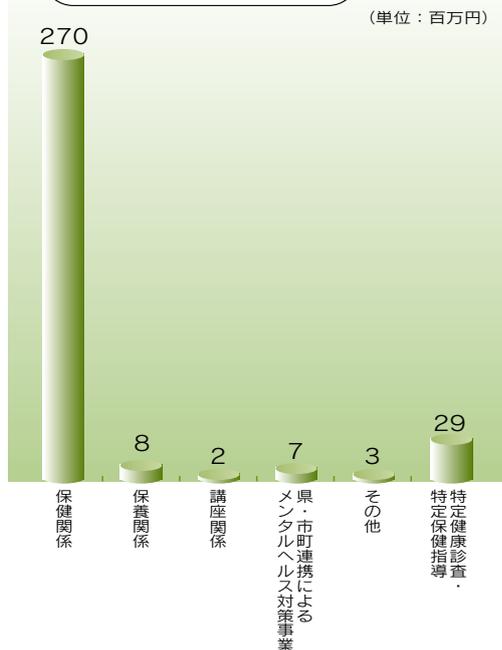
※特定健康診査に係るインセンティブについては、15Pをご覧ください。



( ) 内は収入に占める割合

( ) 内は支出に占める割合

## 種類別事業計画額



## 事業の種類

関係	人間ドック利用助成		関係	愛媛共済会館利用助成	
	がん	脳ドック		新婚・銀婚等利用助成	福祉施設利用助成
保健関係	がん検診等補助	ミニドック	講座関係	その他	眼底検査
					大腸がん検査
					HbA1c検査
					血清クレアチニン検査
保健関係	がん検診等補助	肺がん検診	特定健康診査・特定保健指導	その他	デジタルCR
					ヘリカルCT
					胃がん検診
					子宮がん検診
保健関係	がん検診等補助	乳がん検診	特定健康診査・特定保健指導	その他	データヘルス事業
					前立腺がん検診
保健関係	がん検診等補助	インフルエンザ予防接種補助	特定健康診査・特定保健指導	その他	電話健康・メンタルヘルス相談
					県・市町連携によるメンタルヘルス対策事業
はり・きゅう施術料助成(※平成30年3月31日までの施術に係るもの)					

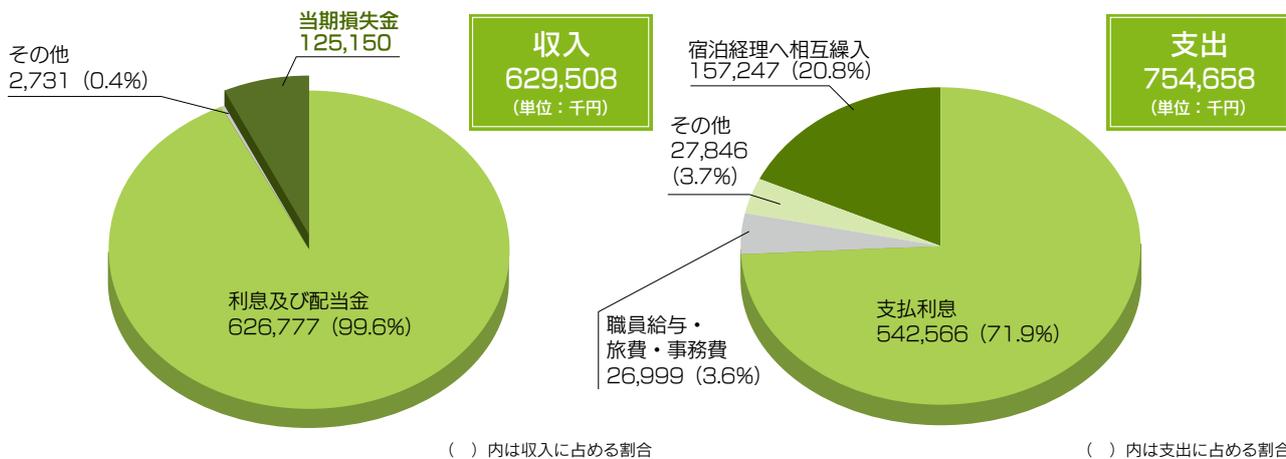
# 貯金経理

この経理では、組合員の皆様からお預かりした資金を安全かつ効率的に運用して、組合員の皆様の生活設計に寄与することを目的とした貯金事業を行っています。

今年度も貯金利率は1・0%とし、年度末の貯金残高は544億円、1人当たりの貯金額は624万円、加入率は59・01%を見込んでいます。貯金経理の資産は、本組合で定める資金の管理・運用基準に基づき、国債等の債券を中心として運用しています。

また、前年度と今年度は、本年4月から8月にかけて行う「えひめ共済会館」の改修工事に係る費用の一部を宿泊経理に繰り入れることとしています。

毎月の給与又は期末勤勉手当からの控除による定例貯金のほか、専用振込用紙で金融機関の窓口から振り込む臨時増額貯金もできますので、未加入の方は、是非ご加入ください。



## 貯金事業の現況 (平成30年度末推計)

貯金者数 **8,720人**

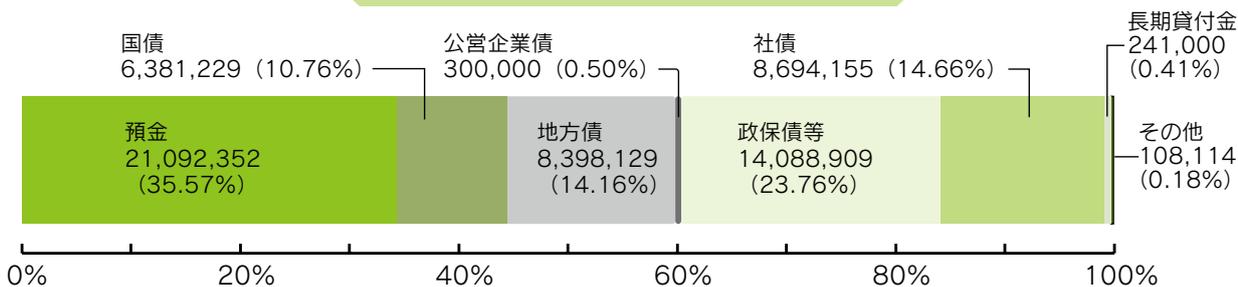
一人当たり貯金額 **624万円**

貯金額 **544億円**

加入率 **59.01%**

## 貯金経理の資産運用計画 (単位: 千円)

資産総額 **593億388万円**



# 貸付経理

この経理では、経過的長期預託金管理経理及び退職等年金預託金管理経理から資金を借り入れ、組合員の皆様の住宅建設・購入資金、入学・修学等の教育資金や自動車購入資金等の貸付けを行っています。

組合員数の減少や社会情勢の変化により、貸付件数、貸付金残高ともに年々減少しており、年度末の貸付残高は、前年度末より1億8500万円減の29億4900万円となる見込みです。

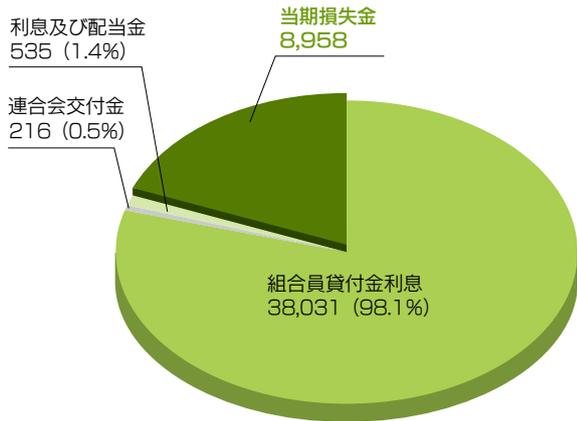
なお、貸付事故（自己破産、民事再生手続などによる貸倒れ）の増加は、保険料の増加につながり、財政を圧迫する要因となりますので、引き続き所属所と連携を図りながら償還能力などの事前審査を強化し、貸付事故防止に努めてまいります。

平成30年1月からは、貸付利率を1.26%に引き下げましたので、銀行等から教育ローンや自動車ローンなどの借入れを予定されている方は、貸付事業のご利用についてもご検討ください。

※貸付事業については、16Pをご覧ください。

## 収入

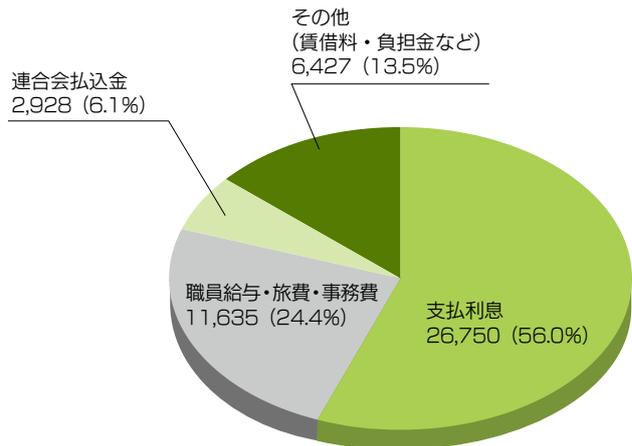
38,782  
(単位：千円)



( ) 内は収入に占める割合

## 支出

47,740  
(単位：千円)



( ) 内は支出に占める割合

### ● 償還額計算例(普通貸付・貸付利率 年1.26%・4月から償還開始の場合)

貸付金額	償還回数	償還額(月額)	償還額(ボーナス)	償還額(合計)
500,000円	60回	8,603円	-	516,145円
1,000,000円	90回	11,650円	-	1,048,467円
	72回	9,617円	28,851円	1,038,583円
1,500,000円	108回	14,699円	-	1,587,382円
	84回	12,442円	37,326円	1,567,592円
2,000,000円	120回	17,747円	-	2,129,637円
	96回	14,605円	43,815円	2,103,133円

※上段は毎月償還のみ、下段はボーナス償還を併用した場合の計算例です。  
 ※償還回数は貸付金額によって決まっています。  
 ※償還額(月額)の最終回は端数調整のため異なる場合があります。

### ● 平成30年度末貸付金推計

種類	件数	金額(千円)	割合
普通貸付	949	850,518	28.84
住宅貸付	638	1,550,613	52.58
在宅介護対応住宅貸付	28	37,631	1.28
災害貸付	2	15,180	0.51
特別貸付	451	493,901	16.75
高額医療貸付	1	1,000	0.03
出産貸付	1	420	0.01
合計	2,070	2,949,263	100.00

# 物資経理

この経理では、貯金経理から資金を借り入れ、組合員の皆様が、本組合の契約業者(指定店)から自動車等を購入する際に、購入代金を本組合が立替払いする物資供給事業を行っています。組合員数の減少等により、利用件数、利用金額ともに年々減少しておりますが、今年度は1億6560万円の販売となる見込です。

貸付事故の発生は、翌年度以降の保険料の大幅な増加につながり、収支悪化の要因となりますので、物資供給事業のご利用をご検討いただいている方へ計画的なご利用をお願いするともに、引き続き所属所と連携を図りながら貸付事故防止に努めてまいります。平成30年1月からは、償還利率を1.9%に引き下げましたので、物資供給事業をご活用ください。

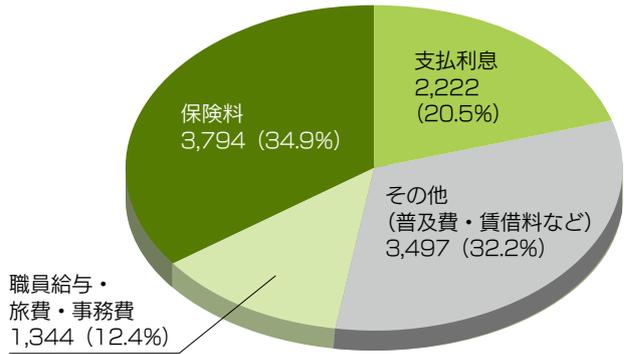
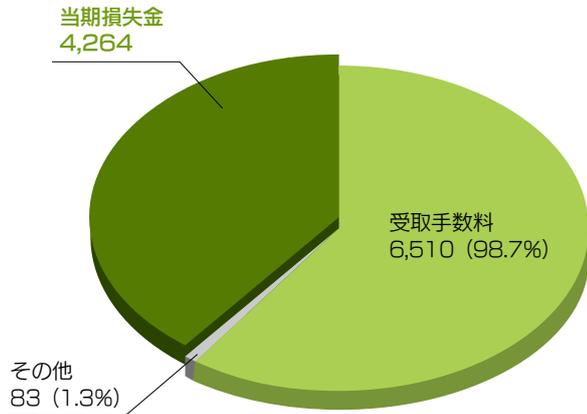
※物資供給事業については、16P及び別冊「平成30年度物資供給事業契約業者(指定店)名簿」をご覧ください。

## ●平成30年度事業の概要

販売品目	家庭用電気製品、家具、自動車、自転車、自動二輪車、楽器、図書、洋服、時計、貴金属、眼鏡、ミニハウス、ストックハウス、住宅付帯設備、カメラ、レジャー・スポーツ用品、寝具、健康器具、石材
販売方法	店頭・巡回・通信販売
利 潤 率	平均 0.72%
購入制限額	200万円
指定店数	129店
月賦方法	2月～60月
債務保証	官公庁等共済組合一般資金貸付保険により行う
売上見込額	165,600千円

**収入**  
6,593  
(単位：千円)

**支出**  
10,857  
(単位：千円)



( ) 内は収入に占める割合

( ) 内は支出に占める割合

## ●償還額計算例(立替金利率 年1.9%・6月から償還開始の場合)

立替金額合計	毎月償還分	賞与償還分	償還回数	償還額(月額)	償還額(ボーナス)	償還額(合計)
1,000,000円	1,000,000円	0円	60回	17,484円	-	1,049,010円
			48回	21,651円	-	1,039,246円
	750,000円	250,000円	毎月60回・賞与10回	13,113円	26,118円	1,047,926円
			毎月48回・賞与8回	16,238円	32,344円	1,038,181円
	500,000円	500,000円	毎月60回・賞与10回	8,742円	52,236円	1,046,849円
			毎月48回・賞与8回	10,825円	64,689円	1,037,125円
2,000,000円	2,000,000円	0円	60回	34,968円	-	2,098,056円
			48回	43,302円	-	2,078,522円
	1,500,000円	500,000円	毎月60回・賞与10回	26,226円	52,236円	2,095,894円
			毎月48回・賞与8回	32,477円	64,689円	2,076,396円
	1,000,000円	1,000,000円	毎月60回・賞与10回	17,484円	104,473円	2,093,737円
			毎月48回・賞与8回	21,651円	129,379円	2,074,282円

※償還回数は60回を限度として設定できます。  
 ※賞与償還分は立替金額の2分の1以内で設定できます。  
 ※償還額の最終回は端数調整のため異なる場合があります。

### 退職等年金 預託金管理経理

この経理は平成30年度から新設された経理で、長期給付事業（年金業務）を一元的に処理している全国連合会から退職等年金給付積立金の一部の預託を受けて、管理・運用を行います。

年度末の預託運用額は、普通預金の短期運用資金520万円と、組合員に対する貸付金の資金としての貸付経理への貸付金16億7500万円の合計で、16億8020万円を見込んでいます。

なお、運用収入520万円は、全額を全国連合会へ支払うこととなります。



支出  
5,212  
(単位：千円)

( ) 内は支出に占める割合



収入  
5,212  
(単位：千円)

( ) 内は収入に占める割合

### 経過的長期 預託金管理経理

この経理では、全国連合会から長期給付積立金の一部の預託を受けて、管理・運用を行っています。

年度末の預託運用額は、普通預金・定期預金での短期運用資金9718万円と、組合員に対する貸付金の資金としての貸付経理への貸付金9億600万円の合計で、10億320万円を見込んでいます。また、貸付経理への貸付資金を賄う経理は、段階的に退職等年金預託金管理へ移行することとしています。

なお、運用収入2150万円は、全額を全国連合会へ支払うこととなります。



支出  
21,545  
(単位：千円)

( ) 内は支出に占める割合



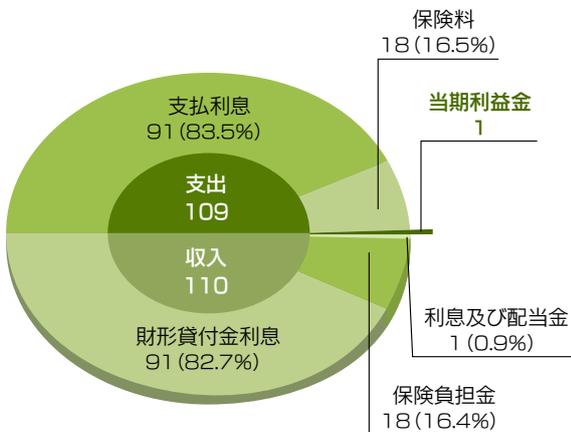
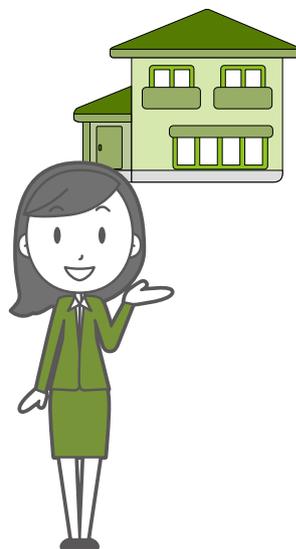
収入  
21,545  
(単位：千円)

( ) 内は収入に占める割合

### 財形経理

この経理は、財形住宅貸付事業に係る資金の貸付を行う経理で、全国連合会から資金を調達して事業を行います。

今年度は、1800万円の借入を見込んでいます。



(単位：千円)

( ) 内は支出又は収入に占める割合

# 宿泊経理

この経理では、「えひめ共済会館」の経営・運営を行っています。

えひめ共済会館では、「安全・安心」な施設としてご利用いただくため、組合員の皆様へ一層のサービスに努めてまいります。

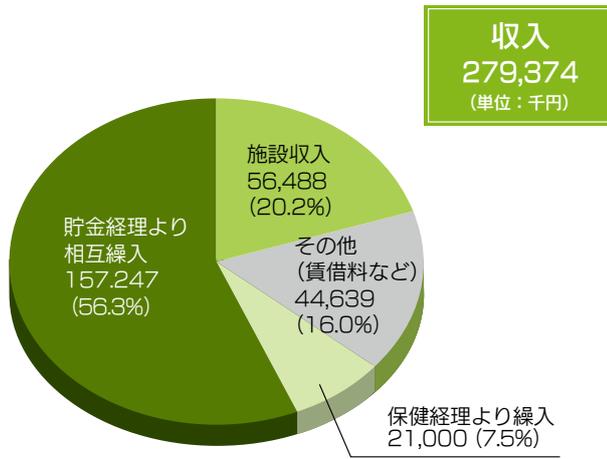
宿泊利用率は75%を見込み、「ビジネスプラン」、「四季の伊予路プラン」、「年金者連盟会員様限定宿泊プラン」及び「宿泊サポートプラン」などのお得な宿泊プランもご用意しております。その他にも、お食事処「旬彩 伍縁」との共同企画を今年度も実施する予定です。

えひめ共済会館は、本年4月から8月までの間、老朽化・防災対策のための改修工事を行うため休館いたします。9月1日からのリニューアルオープン後は、皆様により快適にご利用いただけるよう職員一同努力してまいりますので、ご理解のほどよろしくお願ひします。

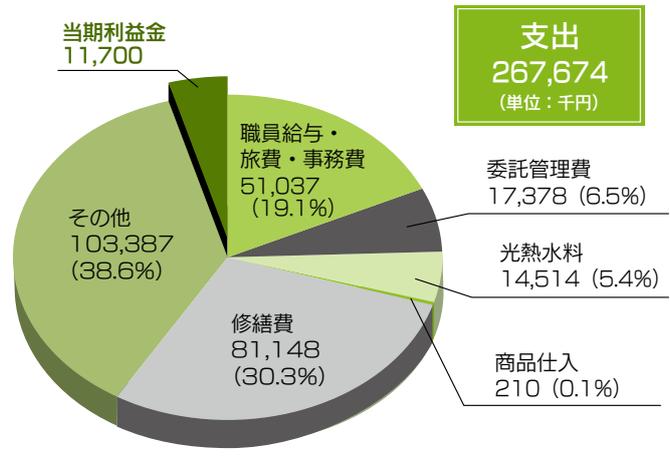
なお、9月1日以降のご予約については、休館中も午前7時30分から午後7時30分まで承っております。

## ●年間利用計画

区分	部門	宿 泊	宴会会
利用人数		9,230人 (組合員4,181人/その他5,049人)	849件
年間収入		37,537千円	18,951千円



( ) 内は収入に占める割合



( ) 内は支出に占める割合

## ●えひめ共済会館宿泊料金表

客室タイプ	宿泊人数	宿泊料
洋室シングル(バスなし)	1人	1,164円(3,564円)
洋室シングル	1人	2,244円(4,644円)
洋室ツイン	1人利用	3,000円(5,400円)
	2人利用	1人当たり 2,028円(4,428円)
洋室バリアフリールーム	1人利用	2,784円(5,184円)
	2人利用	1人当たり 1,488円(3,888円)
和 室(定員2人)	1人利用	3,000円(5,400円)
	2人利用	1人当たり 2,028円(4,428円)
	3人利用	1人当たり 1,704円(4,104円)

## ●お得なえひめ共済会館宿泊プラン

宿泊プラン	宿泊料	内 容
ビジネスプラン	1泊朝食付 1,614円～ (4,014円)～	宿泊と朝食(バイキング形式)をセットにしたプランです。
四季の伊予路プラン	1泊2食付 4,700円 (7,100円)	宿泊と愛媛県産の旬の食材にこだわった夕食に朝食(バイキング形式)をセットにしたプランです。
年金者連盟会員様限定 宿泊プラン	1泊2食付 6,600円	年金者連盟会員様を対象とした宿泊プランで、宿泊と愛媛県産の旬の食材にこだわった夕食に朝食(バイキング形式)をセットにしたプランです。
宿泊サポートプラン	1泊2食付 2,600円 (5,000円)	学生の皆さんの各種イベントへの参加を応援するプランで、宿泊と夕食(2種類から選択)に朝食(バイキング形式)をセットにしたプランです。 ※10名様以上でご利用の小学生から大学生までが対象で、広間での宿泊利用となります。

- 備 考
- 1 組合員、一般の料金区分はありません。
  - 2 宿泊料(税込)は、えひめ共済会館利用助成額(1人1泊2,400円)を控除した後の組合員(公務出張は除く。)及び被扶養者のお支払い料金です。
  - 3 ( )内は、助成金控除前の料金です。
  - 4 チェックインは15時から、チェックアウトは10時です。
  - 5 門限はありません。